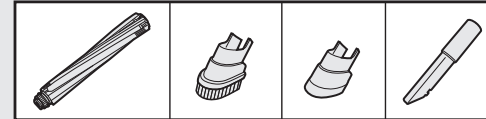


お手入れする

水洗いできるもの



警告



お手入れ時は必ず運転を停止し、本体からバッテリーをはずす
充電器は電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

吸込口(ヘッド)／回転ブラシ

お手入れの目安

■吸込力が弱くなったり、汚れが気になるとき
(月1回程度)

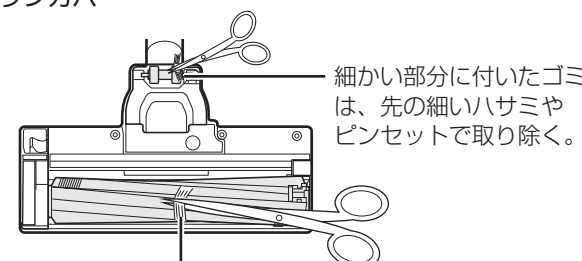
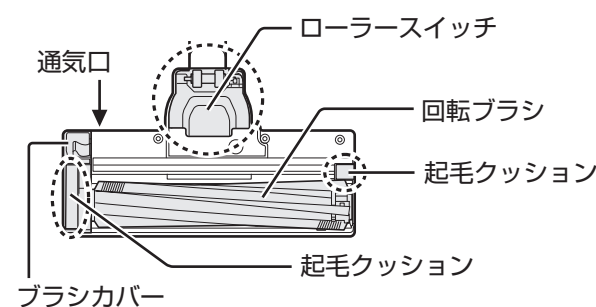
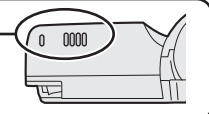
■ヘッドお手入れランプ(赤)が
速く点滅したとき

回転ブラシを取りはずして
ゴミを取り除いてください。(右記参照)



吸込口に付いたほこりをスグトルブラシなどで吸い取り、
部にかみ付いた毛・糸くずを切り取ってから、
絞った布で拭く。

通気口に付いたほこりも
吸い取ってください。



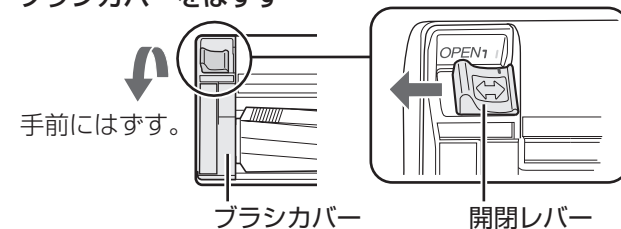
からまったゴミは、溝に沿って切り取る。
(ブラシの毛先を切らない)

部が摩耗した場合は使用を中止し、
お買いあげの販売店にご相談ください。

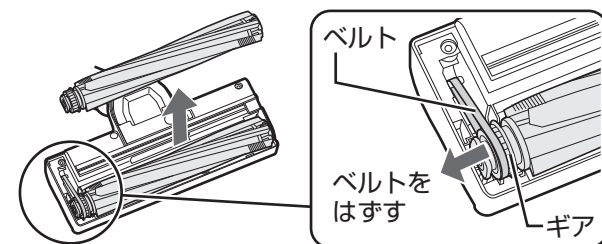
回転ブラシを取りはずしてゴミを取り除く

回転ブラシを取りはずす

① 開閉レバーを「OPEN」までスライドさせ
ブラシカバーをはずす



② 回転ブラシを持ち上げながらベルトをギアからはずす



③ 回転ブラシにかみ付いたゴミを取り除く

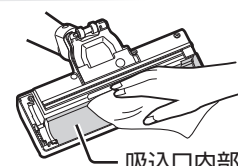
汚れがひどいときは回転ブラシを水洗いできます

お願い

- 洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール類やお湯(約40℃以上)は使わないでください。(変質や変形の原因)
- 水洗いした後は、水気をしっかり切り、風通しのよい所で陰干しして、充分に乾かしてください。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。(変形や故障の原因)

吸込口全体は水洗いできません。

吸込口内部の汚れが気になるときは、
水または薄めた中性洗剤を含ませた
布で拭き取ってください。

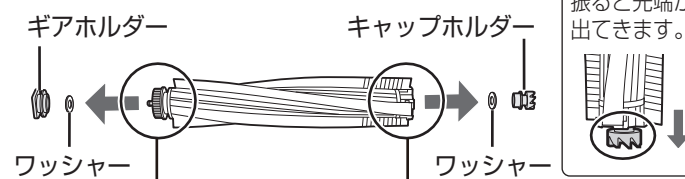


回転ブラシの「両端」にゴミがかみ付いたときは

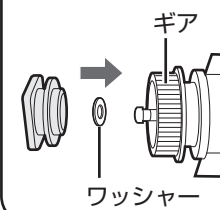
回転ブラシ両端のギアホルダー・キャップホルダー・
ワッシャーをはずして、ゴミを取り除いてください。
奥にゴミが詰まっていないか確認してください。

ギアホルダー・キャップホルダー・ワッシャーを
紛失しないよう、ご注意ください

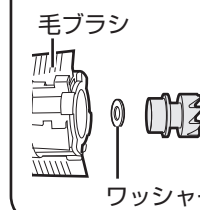
平行にまっすぐはずしてください。



ギアがある方に
ギアホルダー・
ワッシャーを
取り付けます。



端まで毛ブラシがある方に
キャップホルダー・
ワッシャーを
取り付けます。

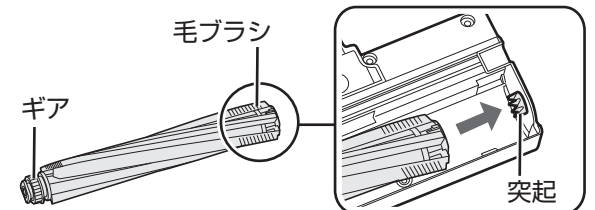


お願い

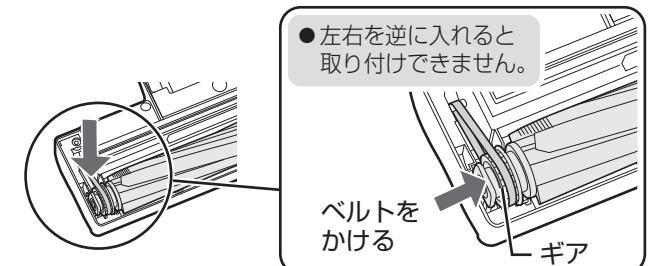
- お手入れ後は必ず、ギアホルダー・キャップホルダー・
ワッシャーを取り付けてください。
- 回転ブラシが取り付けできない場合は、ギアホルダー・
キャップホルダー・ワッシャーを正しく取り付けて
いるか確認してください。

回転ブラシを取り付ける

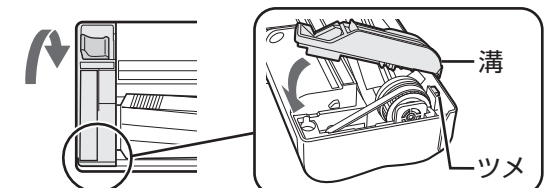
① 端まで毛ブラシがある方を突起に差し込む



② 回転ブラシのギアにベルトをかけ、溝に入れる

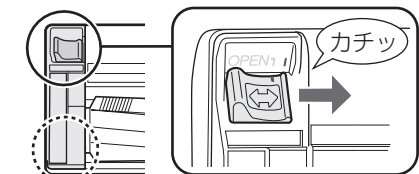


③ ブラシカバーの溝をツメにかけて取り付ける



④ 開閉レバーを矢印の方向にスライドさせる

しっかり閉まっていることを
確認する。



側面からみて
すき間が開いて
いないことを
確認する。



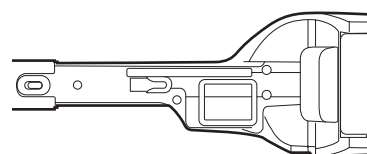
すき間が開いている場合はここを上から押し、はめ込む。

本体・付属吸込口・充電部の接点(端子)

お手入れの目安：汚れが気になるとき

本体

水または薄めた中性洗剤を含ませた布
で拭き取る。
シンナー・ベンジン・アルコール類は
使わないでください。
(変質や変形の原因)



付属吸込口

水または薄めた中性洗剤で洗う。

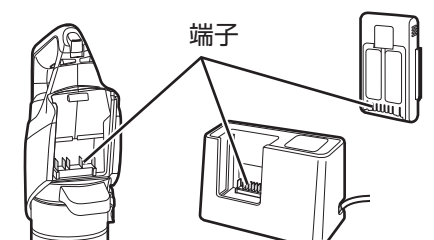


充電部の接点(端子)

乾いた布で汚れを拭き取る。

ご注意

- 本体・充電器・バッテリーは
水洗いできません。



水洗いした後は充分に
乾かしてください。

お手入れする



警告



お手入れ時は必ず運転を停止し、
本体からバッテリーをはずす
充電器は電源プラグを抜く
【感電・けがの原因】

ローラースイッチ

お手入れの目安：汚れが気になるとき

ローラースイッチにゴミやほこりが詰まったときは、ローラースイッチをはずして取り除いてください。

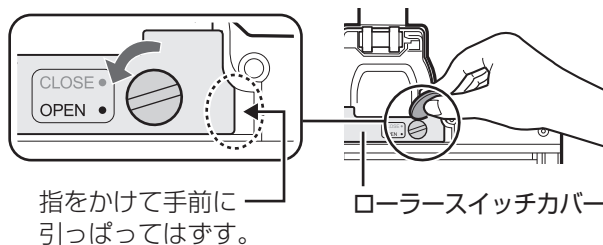
ご注意

- ローラースイッチは
水洗いできません。

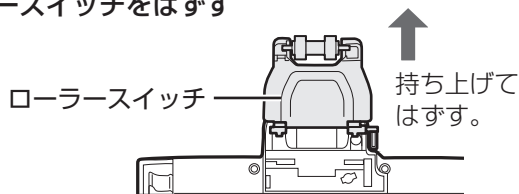
はずす

- ① コインなどで「OPEN」まで回して、
ローラースイッチカバーをはずす
(「OPEN」まで回しきらずにはずすと、破損の原因)

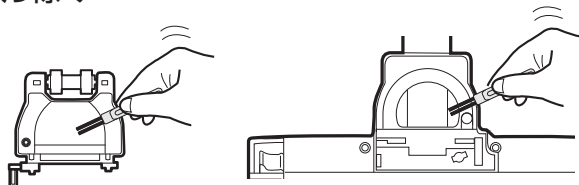
- 爪で回したり、強く回したりしないで
ください。(けがや破損の原因)



- ② ローラースイッチをはずす

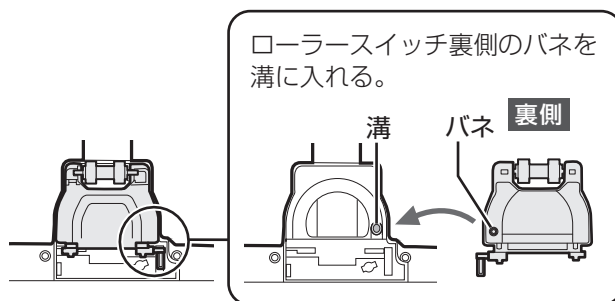


- ③ ゴミやほこりをクリーニングブラシで
取り除く

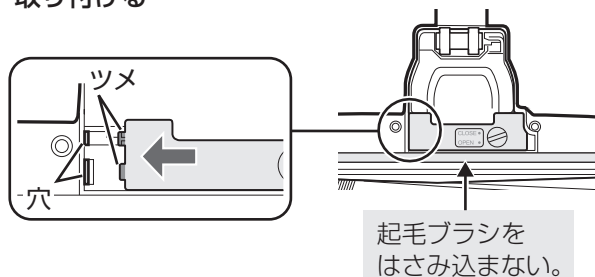


付ける

- ① ローラースイッチを付ける



- ② ローラースイッチカバーのツメを穴にかけて
取り付ける



- ③ コインなどで「CLOSE」まで回す

